

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：都市・地域整備局街路課
担当課長名：斉藤 親

事業名 いわたきかいがんせん 岩滝海岸線	事業区分 街路	事業主体 京都府
起終点 起点：京都府与謝郡岩滝町字弓木 終点：京都府与謝郡岩滝町字男山	延長 1.3 km	
事業概要 本路線は、京都府北部地域の観光・文化・産業を支える国道178号の幅員狭小区間である岩滝町の中心市街地部のバイパス道路として、また、鳥取豊岡宮津自動車道（仮称）野田川ICと丹後半島東部のアクセス道路として、重要な幹線道路である。		
S62年度事業化	S62年度都市計画決定	H4年度用地着手
全体事業費	31億円	事業進捗率
		55%
		供用済延長
		0 km
計画交通量 9,400台/日		
費用便益分析結果	B/C (事業全体)2.6 (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) /39億円 (事業費) /37.8億円 (維持管理費) / 1.4億円
	総便益 (残事業)/(事業全体) /103億円 (走行時間短縮便益) /82.5億円 (走行費用減少便益) /12.6億円 (交通事故減少便益) /7.5億円	基準年 平成15年
事業の効果等 ・交通混雑の緩和 ・鳥取豊岡宮津自動車へのアクセス強化 ・丹後地域の観光振興 ・沿道の良好な都市空間の形成に資する		
関係する地方公共団体等の意見 岩滝海岸線は、宮津・与謝地域1市4町の合併を支援する道路として合併協議会からの知事あてに整備促進の要望がある(H15.5.9)。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 交通量は増加傾向にある。(岩滝町の人口推移 S60国勢調査 7,102人 H12国勢調査 6,648人、交通量の推移 S60 6,669台/12h H11 8,670台/12h)		
事業の進捗状況、残事業の内容等 移転補償交渉は全て完了し、用地交渉があと1件を残すのみとなったことから、今後は順次、陸上部・埋立部ともに工事に着手し、平成19年度の供用を目指す。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地買収において、買収後の残地形状が悪かったため、隣接地権者との調整や代替地の確保等地域の協力を得ながら進めていたため、交渉に時間を要した。		
施設の構造や工法の変更等 建設発生土の他事業への流用やコンクリート2次製品の積極的な使用によりコスト縮減を図る。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 本路線は、丹後地域の玄関口に位置し、国道178号の交通混雑を緩和するとともに丹後地域の観光振興を支援する道路として、事業効果の高い重要な路線である。用地交渉もほぼ完了し、今後は工事の進捗が図れることから、総合的に評価すれば事業を進める。		
事業概要図		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。